



春の新しい生活に向けての「0学期」 充実した学校生活を過ごしていますか？

ある染織家の「桜染め」の話より

ある染織家からの話です。春の代表的な花といえば桜ですが、この桜を用いた染め物に「桜染め」というものがあるそうです。しかし、この「桜染め」は、桜の花びらから色を取り出すのではなく、桜の木の皮を煮て桜色に染めていくのだそうです。しかも、桜の花が咲く直前の木の皮で染めると、とても美しいピンク色に染まるということも学ぶことができました。

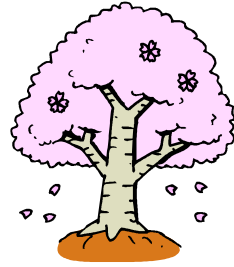
桜の木の皮の表面は、どちらかといえば、黒っぽくてごつごつしています。しかし、桜は、つぼみが咲き終わるとすぐに次のつぼみができてきて、特に寒い冬の間、このつぼみのピンク色が桜の木の中で熟成されるのだそうです。そして、木の皮の内側もピンク色になり、さらには木全体を桜色に染めながら開花の準備をしていくのだそうです。つまり、桜の木の先端に咲くあの美しい花を、幹も枝も樹液も木全体がピンク色に染めて支えているのです。

このように春を待つ桜が、美しい花を咲かせるために、木全体がピンク色に染まり開花を待っていることを知り、改めて、自然の力の凄さ・不思議さというものを感ずることができました。

また、春を待つ桜が、春の開花に向けて、寒い冬の間も休むことなく動き続けていることを知り、やはり「物事を成し遂げるには、継続して取り組むことが大切。」という思いを強くした次第でした。

さて、春の新しい生活に向けての「0学期」。春に向かって咲こうとしている皆さんは、今どんな色の花を咲かそうとしているのでしょうか。春はもうすぐです。美しい花を咲かせるためにも、「今、何に継続して取り組まないといけないのか？」ということをしっかり考えながら、卒業までの日々を、そして、残された3学期を有意義に過ごしていきましょう。

春に咲く、生徒の皆さん一人一人の美しい花を楽しみにしています…。 校長より



「桜染め」に用いる桜の枝

「時を待つ心」 松下幸之助 (※一部抜粋)

わるい時がすぎれば、よい時は必ず来る。
あせらずあわてず、静かに時の来るのを待つ。
時を待つ心は、春を待つ桜の姿といえよう。
だが何もせず待つことは僥倖(ぎょうこう)を待つに等しい。
静かに春を待つ桜は、一瞬の休みもなく力をたくわえている。
たくわえられた力がなければ、時が来ても成就しないであろう。



松下 幸之助

(まつした こうのすけ)

1894~1989 94歳で亡くなる。日本の実業家、発明家、著述家。パナソニック(旧社名:松下電器器具製作所、松下電器製作所、松下電器産業)を一代で築き上げた経営者。異名は「経営の神様」。その他、PHP研究所を設立して倫理教育や出版活動に乗り出す。さらに晩年は松下政経塾を立ち上げ、政治家の育成にも意を注いだ。

※僥倖(ぎょうこう)とは…思いがけない幸せのこと。転じて、なかなか自分におとずれない幸せのこと。
チーム郡 思いを力に! (2月第4週の言葉)

『良き習慣』が『人としての力』を作っていきます!

保護者の皆様へ

子どもたちの力を伸ばすには、良い習慣を身につけることがとても大切です。

第1に、基本的な生活リズムを崩さないことです。何をすることも「早寝、早起き、朝ご飯」などの基本的な生活習慣が生活リズムの基盤となります。

第2に、毎日必ず学習する習慣を身につけさせてください。学力を上げるには毎日の家庭学習が不可欠であり、その習慣の中で子どもたちの学習に対する主体性も育てられていくのです。

第3に、行動面でも良い習慣を身につけさせましょう。朝のあいさつをする。呼ばれたらはっきり返事をする。席を立ったら椅子を入れ、履き物を脱いだら揃える。どれも当たり前のことですが、それを徹底させていくことで人としての力が備わってくるのです。「凡事徹底」こそ、良い習慣作りにつながっていくのだと思います。

『これからの「正義」の話しよう』(マイケル・サンデル著)には、「美德を身につける第1歩は、実行することだ」「われわれは正しい行動をすることで正しくなり、節度ある行動をすることで節度を身につけ、勇敢な行動をすることで勇敢になる」と書かれています。子どもたちの春の新しい生活に向けた良き習慣作りのため、良き行動を促す温かい声かけをよろしくお願いします。





令和4年度長崎県公立高校「後期選抜」学力検査 3月8日・9日実施!

3年生88名 いよいよ出陣の時です!



【3年生のみなさんへ】

いよいよ令和4年度長崎県公立高校「後期選抜」学力検査が、令和4年3月8日(火)・9日(水)の二日間で実施されます。

本校からは、私立高校合格者・公立高校前期選抜学力検査合格者・通信制高校受験者等の144名を除く、3年生88名が各志願校で学力検査を受検します。

3年生88名のみなさんの最後の頑張り調整は、間違いなく自分の目指す、春の新生活のスタートにつながっています。その為にも、自分の力、可能性を信じて、最後の瞬間まで、粘り強く受検勉強に取り組んでください!

そして、受検当日は、これまで積み上げてきた学習の成果を、この公立高校「後期選抜」学力検査でしっかりと発揮してください!

学びや努力の先にあるのが「希望!」受検生88名全員の合格を心より願っています。

また、同級生の皆さんには、「チーム郡」として、3年生88名の受検生のサポートと応援をよろしくお願ひします。

長崎県公立高校『後期選抜』
学力検査の概要

《入試日程》令和4年3月8日(火)・3月9日(水)

《合格発表》令和4年3月16日(水) 9:30

《学力検査》合計500点満点

英語 100点(50分・10分間の聞き取りテストあり)

数学 100点(50分)・国語 100点(50分)

理科 100点(50分)・社会 100点(50分)

※一部で傾斜配点を実施

《その他の検査》すべての受検者に面接を実施

《調査書・内申点の算出方法》

1年生の9教科×5段階=45点

2年生の9教科×5段階=45点

3年生の9教科×5段階=45点 合計135点満点

《総合点の算出と受検者の合否判定方法》

①調査書(135点満点) ②学力検査点(500点満点)

③面接の結果を総合的に判断。

《主な公立高校の各検査項目等の比重》

学校名	各検査項目等の比重		
	調査書等	学力検査	面接
大村(普通科)	2	7	1
大村工業(全ての学科)	4	5	1
大村城南(総合学科)	3	5	2
諫早(普通科)	2	7	1
諫早商業(全ての学科)	4	5	1
諫早農業(全ての学科)	5	3	2
国見(普通科)	3	5	2
鹿町工業(全ての学科)	4	5	1

POINT

後期選抜においては、各高校とも学力検査の比重が高くなっています。長崎県の過去問等にチャレンジして、5教科の学力検査問題をしっかりと解けるように準備しておくことが合格の鍵となります。また、比重は低くても、面接もしっかりと練習しておきましょう。点数が並んだ時は、面接が勝負を決めるのですから!



【1・2年生のみなさんへ】

高校合格は、自分の力でしか勝ち取れません! その志望校合格を成し遂げるためにも、公立高校、私立高校における入学試験の概要・日程を理解し、1年後、2年後の自分自身の高校入試をしっかりとイメージする中で、計画的に学習に取り組んでいくことが大切です。

自分の未来を素敵なものに作り上げるためにも、現在の学習とこれまでの復習に継続的に取り組み、春の新しい学年でのスタートに向けて、切れ目のない学びに取り組んでほしいと思っています。

右側に公立高校「後期選抜」学力検査の概要を示しています。自分の進路実現に向けて参考にしてください。

【2年総合的な学習の時間】における「キャリア教育」

2年生も来春の希望する進路実現に向けて、進路学習にしっかりと取り組んでいます。



総合1
2/22(火)
6校時

【職業講話】
「キャリア教育に役立つ講座」
講師: 諫早商業高校
・ライフプランについて考えよう
(50分)

郡中では、将来設計について学び、自分の進路に対して見通しを持つ中で、学校生活に目的意識をもって過ごしてもらうために、進路学習を行っています。

総合2
2/24(木)
4校時

【職業講話】
ハローワークの方から、長崎県の仕事、就業するにあたって必要なスキル等の話を聞き、自分の今後の生き方について考える。
(50分)

総合3・4
3/2(水)
5・6校時

【4校合同高校説明会】
大村市内の4高校による生徒対象の学校説明会
・大村高校
・大村城南高校
・大村工業高校
・向陽高校
(80分)

学活
3/3(木)
6校時

【高校入試に関する説明会】
高校入試について、公立と私立の違いや2年生としてこれから準備すべきこと等について、進路指導担当から話を聞く。
(50分)